

令和元年度 創造調和

令和2年3月17日
半田市立半田中学校
第17号
学校だより

「三月のハンカチ乾く 暇もなく」、3月は別れの季節ですね。臨時休業中の1・2年生はいかが暮らしていますか。元気になっていますか。次に学校に来る日について、学校メルマガやホームページ内の「デイリー半中」で昨日の16日に連絡をしました。健康と安全を考えた分散登校となる今回、自分はいつ学校に行くのかをしっかりと理解してくださいね。

令和元年度卒業式を終えて



涙を誘う 在校生の歌 (2/28)



式当日の朝 校歌碑を掃除する卒業生

予想はしていたが、体育館ステージから見える景色が今年は明らかに違っていた。卒業式に参加された人数が例年より少ないのである。半田中学校の校長として4年目が終わろうとしている。赴任当時、全校生徒数は900名を超えていた。それから年々減り続け、今はほぼ800名、来年度はさらに少なくなる見通しである。

証書授与。厳粛だった。制限の中の卒業式だったが、卒業生は例年と変わることなく、立派だった。卒業証書を受け取りに、一人一人が体育館ステージへの階段を一步ずつ上がってくる。その姿を見ている私はよくわかる。階段を一段上がるたびに、目が赤くなり、ステージに上がったところには目に涙をいっぱい浮かべ、証書を渡すときに目が合った人の多くは涙があふれてしまうのだった。男子も女子もである。ステージを上がる階段で号泣している人もいる。そんな卒業生を見ているとこみ上げてくる。

在校生の存在の大きさを再認識した卒業式だった。在校生は歌うだけ、出番は少なく座っているだけと言われることがある。それは違う。張り詰めた厳粛さをつくり出しているのは卒業生だけではなく、在校生なのである。毎年のことながら、在校生の歌を聞いて感極まる卒業生も多い。2月28日に行った卒業式総合練習でもそうだった。

3日に行った卒業式の卒業生退場。7クラスが退場する間、ずっとBGMで流れていたのは、在校生が卒業生のために3日に歌うはずだった、卒業生との突然のお別れとなった2月28日に歌った「翼を広げて」である。



証書を堂々と受け取る卒業生



証書を万感で受け取る卒業生



答辞を校長に渡す涙の総代



胸に迫る卒業の歌

令和2年度1学期に保護者の皆様にお越しいただきたい行事日程

お問い合わせをいただいておりますので、来年度1学期の行事予定をお伝えします。

- 4月30日(木)午後 全学年：PTA総会・学年懇談会
※ 3年生は、例年この学年懇談会と併せて修学旅行の説明を行っていましたが、来年度はこの学年懇談会の中で、3月12日の進路説明会でお話しする予定の内容について、ご説明させていただきます。
- 5月11日(月)午後 3年生：修学旅行説明会
- 6月4日(木)午後 全学年：部活動懇談会
※ 3年生はその前に進路説明会を予定しています。
- 7月13日(月)・14日(火)・15日(水)午後 全学年：保護者会

あくまで現段階(3/17現在)の予定です。状況の変化などによって日程の変更が必要になった場合は、改めてご連絡させていただきますので、ご了承ください。